

月の花挽歌 ～10. ^{がつざん}月山～

10-3

「話が長くなりましたが、ボギーはハンフリー・ボガードのニックネームです。彼の役を演じられるのなら、今からタイムスリップしてでもやりたいですよ！」と歌い終わった人気男優は嫌味にならないように、横田の顔をまっすぐ見てそう伝えた。

横田は曖昧に頷いて見せたが、視界の真ん中で心持ち男にしなだれかかる真紀の形姿を嫉妬心まるごとで感じ取っていた。

短い沈黙が流れた。

「素人考えかもしれませんが、先ほど映画俳優の演技力の評価についてTさんが言われたことで——作品の登場人物にキャスティングがハマるかハマらないか次第だとすると、運と偶然が大きく作用するんですね」と横田は今にも崩れ落ちそうな心境を持ち前のプライドの高さで奮い立たせて口を開いた。

「おっしゃる通りです。もし夢がかなうとしたら、『エデンの東』のジェームズ・ディーン、『アラビアのロレンス』のピーター・オトゥール、『ゴッドファーザー』のアル・パチーノなどを演じてみたいと思います。もちろん、『カサブランカ』のボギーもです。ところで横田先生、人生も運と偶然ではないですか？」と長身の人気男優は、とてつもない空想をドヤ顔で言って、左手を真紀の二の腕に置いたままシャンパングラスを決めポーズで掲げてから飲み干した。

「私だったら、『俺たちに明日はない』のフェイ・ダナウェイ……」と脱ぎっぷりのいい女優が遊戯感覚で相乗りするのを制するかのよう、「お二人とも元気があって羨ましいわ。ところでキャスティング・ディレクターってご存知かしら？」と大女優Kは小さく笑いながらも冷やかな声で言った。

「キャスティング専門の監督なんているのかしら？」と脱ぎっぷりのいい女優は真剣な眼差しをKに向けて尋ねた。

「ハリウッド映画の『ラストサムライ』はご覧になりましたか？」とKは訊いた。

「渡辺謙さんが出演された——、あれは三年位前ですよ。まだ観ていません」

「観ましたよ。謙さん、ハマってました！ゴールデングローブ賞とアカデミー賞で助演男優賞にノミネートされた時は、私も興奮しました」と人気男優は観るのは当たり前だとばかりに言った。

大御所男優Tもこくりと頷いて見せた。

「奈良橋陽子さんはご存知かしら？」とKは疑っているような表情を浮かべて二人の男優に訊いた。